

2-7 高等学校と専修学校の種類と特色

進路情報

1. 題材設定の理由

2年生のこの時期は、希望の職業に就くまでのコースや上級学校の種類や内容についての理解は、まだ十分とは言えない。

そこで、上級学校の特色や内容についての理解を確かなものにする中で、進路に対する視野を拡大するとともに、進路への関心を高めたい。

例えば高等学校といっても様々な系統があり、それによって学習内容も多様である。例えば、工業系といっても多くの科があり、学習内容から取得できる資格、卒業後の進路まで、科による違いが大きい。生徒が進路を選択していくにあたって、これらの情報をつかんだ上で、進学することが望ましいのは言うまでもない。本時で得られる情報はわずかだが、この学習を機会に自分から調べていこうとする動機付けになればよいと考える。

2. 指導のねらい

身近な高等学校や専修学校などの種類と特色、学科の特徴について理解させ、その学習内容などについて自ら調べていこうとする意欲をもたせることで、広い視野に立って進路選択する力を育てることができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・身近にある高等学校や専修学校で、各自が興味をもっている系統や学科を調べておく。
本時	・中学卒業後に進むことのできる学校、高等学校等の学習内容について理解する。
事後	・今後の進路情報を集める上で、生徒に応じたアドバイスを与える。また、各自高等学校等の調査を続ける。

<説話例>

—専門科高等学校に進学した生徒の作文例—

高校に入学して2カ月が過ぎた今、わたしは商業科目に追われながらも、中学校とは一味違った高校生活を送っています。去年の今頃、将来のことはただ漠然と普通科に進んで大学に行こうと考えていました。10月の高校1日入学で商業高校に行きました。ワープロの実習をわたしたちも一緒に教えてもらいました。その時の先輩たちはとても楽しそうに生き生きと活動していました。そして、わたしたちにも親切に教えてくださいました。わたしは普通科高校だけが高校生活ではないなあ、商業高校もおもしろそうだと思うようになりました。その後、学習内容などを調べてみると、自分がやっていきたいことと合っていることがわかりました。両親や担任の先生とも相談して、近くの商業高校の情報処理科を受験することにしました。合格して校章をもらった時は、「今日から商業高校の生徒なんだな」とうれしさがこみあげてき

ました。授業は普通科目の他に簿記、商業経済、計算事務などの商業科目を学習しています。このような科目があることは知ってはいましたが、いざやってみると思っていた以上に難しく正確さを要求されます。普通科目の分からなかった時と違って、商業科目の分からない時はすごく焦ります。けれど、分かった時のうれしさというのは普通科目よりもやる気を起こしてくれます。また、商業だから計算とかワープロといった事務的な実習だけかと思っていたら、それだけでなく社会に出てからも通用する言葉遣い、生活態度など人間性も学ぶことがわかりました。だから社会に出てからのことを考えると、とてもためになります。友達もたくさんでき、勉強を教え合ったりいろいろと話し合ったり、とても楽しい生活を送っています。わたしは今、この学校を選んで本当によかったと思います。将来はコンピューターを使う仕事に就きたいと考えているので、勉強を一生懸命やって資格をたくさん取っていききたいと思います。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の種類について確認する。 ・本時のねらいを知る。 ・中学校卒業後に進むことのできる学校には、何種類もあり、それぞれに特色のあることを理解する。 	<p>◎P.36①の「中学校卒業後に進むことのできる学校」の種類について確認する。</p> <p>課題：身近な高等学校や専修学校などの特色や学科について調べよう。</p> <p>◎P.36①の図で確認した学校にはそれぞれ特色があり、学ぶ事柄や目的に応じていることを知る。</p> <p>定時制…授業開始が夕方からで、働きながら学ぶことができる。単位制となり、特色ある学校や通信制との併用で3年で卒業できるようになった。</p> <p>通信制…自宅で学習し、レポート提出で単位を取得する。</p> <p>単位制…学年制と異なり、取得単位を累積加算して卒業する。</p> <p>専修学校…職業もしくは、実際生活に必要な能力を育成することを目的とした学校で、①専門課程 ②高等課程 ③一般課程がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図を模造紙などにあらかじめ転写しておき説明しやすくする。 ・教師が地域の学校を取り上げながら具体的に説明をする。パンフレット等の資料を準備して興味をもって生徒が話を聞けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P.36①の図 ・各学校の案内 ・巻末資料を利用して学校の種類を確認する。 ・地域の地図を拡大したもの
中心的な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校などにどのような学科や学習内容があるかを知ることが、進路選択の上で大切であることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分が興味をもっている学科の学習内容について調べる。 ・P.37②に記入する。 ・巻末資料や高校のパンフレットなどを参考にして、学習内容、取れる資格、おもな進路先を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味をもっている学科をいくつか選び、調べさせる。ここで具体的な例を挙げてもらいたい。 ・数人に発表させ、その多様性について意識できるようにまとめ方をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P.37②
まとめの活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学科や学習内容などについて知ることが、進路選択にとって重要であることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校への進学には、意外に多くのコースがあることを実感としてつかみ、広い視野に立って進路選択のために、多くの情報が必要なことを理解する。 ◎調べたことから、分かったことやもっと知りたいことをP.37③に記入する。 ・自分が知らなかった学科のことが分かった。 ・学習内容などについてよく調べておくことは大切なんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進路選択に向けて主体的な情報収集につながるようなまとめをする心がけられる。 ・生徒の記述をいくつか紹介する。 ・学習内容について正しく知っておくことが、これからの進路選択に重要であることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P.37③